

1 貴所属団体・機関の 広義の「共食」の考え方を取り入れた又は意識した、今年度の食育の取組み

事業名	内容	協働する他団体名	事業実施にあたり課題となったこと等
【岐阜市】 「満福の日」 生徒の手作り弁当 岐阜西中	8年目を迎える。生徒の作る弁当の中身に焦点を当てるのではなく、生徒たちが食にどう向き合ったのかを点ではなく線として個々の成長に目を向け、年間3回取り組む。	PTA	・教師への依頼と連携の大切さ、PTA役員の意識の低下
【羽島市】 在宅型「親子でクッキング、親子で料理教室」	家庭教育学級の一環として親子でおにぎり作りや料理を行う。	家庭教育学級	・活動後も引き続き、家庭において継続した取組となっていかどうか課題である。
【各務原市】 「給食試食会」 市内全小中学校で実施	<ul style="list-style-type: none"> ・給食当番なども母親が行い配膳する。 ・自分の子どもたちが、どのような給食を食べているかを実際に食することで学校給食を理解する。 ・工夫された献立や味、盛り付けを確認するだけでなく、衛生管理や調理員の思いを栄養教諭から聞く。 センター校ではセンターのDVDを借りてセンターの調理の様子を視聴した。川島調理場では2階から調理状況参観をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・給食の願いを聞く。 1日に必要な栄養の3分の1を摂取できるように、また、地元の食材を取り入れるように作られている。 ・試食後、栄養教諭よりテーマ(アンケートや実情)に沿った講話を聞く。・給食参観(児童生徒が食べている様子を参観) 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級「子育て広場」 ・各校給食室(自校給食校) ・各務原市学校給食センター(センター給食校) 	<ul style="list-style-type: none"> ・参加する保護者を増やしたい。 ・センター校は土曜日の開催が不可能 ・家庭ですぐ参考となるレシピを紹介するようにする。 ・中学校では「親子逆転事業」の中で試食会を行なう学校もあった。(親が学校で食べる。子どもは買い物に行き、自分で献立を立て調理する。他にも洗濯等親の仕事を子が行なう。親は給食後、掃除、授業を受ける等子どもと交代するという事業。栄養教諭の講話は無いので惜しい。)
「夏休み家族(親子)クッキング」 ・八木山小・蘇原第二小・中央小 川島中	(例：蘇原第二小)〈コミュニケーションを大切に〉 <ul style="list-style-type: none"> ・家族で献立を考え、家族で材料を買いに行く。 ・家族で料理し、一緒に食べる。 ・家族から感想を言ってもらい、家族で後片付けをする。 ・クッキングカードに絵や写真を貼り提出し、交流する。 	家庭教育学級「子育て広場」	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事で呼びかけるが、多くの保護者に周知させ、参加を募ることが難しい。 ・PTA役員で審査・講評するところもある。
「親子料理教室」 ・川島小・鵜沼第一小・鵜沼第二小(18ペア)	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みに家庭で親子が協力し短時間で作ることができるおやつ の作り方について家庭科の調理室で実習を行なう。 <ul style="list-style-type: none"> ・給食献立から「歯によいメニュー」を選び親子で(鵜沼二) 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA ・森永乳業(鵜一) 	
「生徒作成献立」 那加第二小・蘇原中	校区の中学校である桜丘中の生徒が授業で作成した献立を学校給食に取り入れる。	桜丘中	

2 岐阜圏域の課題（朝食欠食、食事バランス）解決のための実践している又は考えられる取組み

事業名	内容	協働する他団体名	事業実施にあたり課題となったこと等
【岐阜市】 「食を考える会」 岐阜西中	食生活における大金赤代は、課程環境にあると考える。親の趣向や間上げがまともに影響するのは食卓の上、簡単・便利が当たり前になっている現在の裏側に添加物、農薬、遺伝子組み換えなどの問題があり、便利さとともに失っていることに気づく機会を設ける。否定することではなく、家庭に合う子育て、賢い食育を進めていけるよう、座談会形式で行なう。	漢方の薬局さんの協力	家庭教育学級に参加する保護者が固定化されており、本当に学んで欲しいと思われる保護者に取り組み趣旨が伝わらないことが課題である。
【羽島市】 「朝食は学力の源」 (食事と学力)、食育学習、食育講話	家庭教育学級の一環として各校で栄養教諭の先生から一時間ほど学話を聞く。	家庭教育学級	
【各務原市】 「給食試食会」での栄養教諭講話 ・那加三小・稲羽西小・鵜沼第一小・鵜沼第二小・鵜沼第三小蘇原第一小・八木山小・蘇原二・中央小・桜丘中・稲羽中・川島中・鵜沼中・緑陽中・中央中・蘇原中	「給食試食会」後の栄養教諭講話（栄養教諭からの講話の例） ・学校給食7つの目標を中心として、食を通し、明るい社交性および協働の精神を養うことについて ・食生活アンケート結果を基に、挨拶の大切さ、県の課題、朝食欠食、食事内容、塩分摂取量、痩せ(ダイエット)について ・給食メニューを生かした朝食紹介（アンケートより主食のみの朝食が多いことを受け） ・成長期の子どもたちに必要な栄養（血液サラサラ献立）について学んだ。 ・早寝、早起き朝、ごはん	家庭教育学級「子育て広場」	試食会への参加が少ないので家庭への啓発が弱い。 一部の保護者だけになってしまう。
「献立の立て方」 中学2学年家庭科の教科授業 鵜沼中	家庭科教諭と栄養教諭が連携を図り授業を行っている。栄養教諭が献立を立てる際、どのようなことに配慮して献立を立てているかについて話す。栄養のバランス、彩り、地元の食材や旬の食材を使用、行事食や伝統料理の取り入れ、金額などを考え献立を作成している。特に、不足しがちな野菜を意識して摂取することが大切であるということなども合わせて話す。		
「お弁当の日」5・6年生対象 ・各務小	〈家庭でのコミュニケーションを大切に感謝の気持ちを育成〉 ・家庭科での学習を生かし、家庭で相談して献立を考える。 ・自ら考えた献立の材料を、家族で買いに行く。 ・「お弁当の日カード」に絵や写真を貼り提出し、学級で交流する。 ・「お弁当の日カード」はPTA役員がチェックし、評価を付けて児童に返却する。	家庭教育学級「子育て広場」	

3 食育の輪（生産・加工・消費・環境のサイクル）を意識した取組みや、世代間交流の取組み

事業名	内容	協働する他団体名	事業実施に当たり課題となったこと等
【岐阜市】 「満福サミット」 岐阜西中	・「満福の日」の取組みも8年目を向かえ、形骸化してきている。なんの為に行なうのかをPTAのOBや卒業生を招き、併当の日が社会に出てどう影響したかなどを検証するサミットを開催。	PTA（現とOB）	夏休み開催のため出席者手配に配慮 教員の負担減に配慮
【羽島市】 「給食試食会」 各学校	家庭教育学級の一環として朝食の必要性や給食の概要等を学び、試食会を行う。		
【各務原市】 「給食委員会の活動」 鵜沼中	「毎週金曜日は完食デイ」 自分の健康を考えて、少しでも残量が減り、ごみの量が減るよう取組みを生徒会の給食委員会が取組みを始め、3年目（6月は全校残菜0達成）	生徒会	金曜日だけでもと全盛とで協力し、残菜量は減少した。 毎日に広げる。
「給食委員会の活動」 稲羽中	「給食に関わる方への感謝デイ」 給食に関わる方に感謝を伝える。自分の成長と健康を考えればバランスよく給食を食べ、給食残菜0を目指す。	生徒会	一人一人が、給食に携わる人や給食そのものに感謝し、自分の健康と成長を意識して、バランスよく食べられるように取り組む。
「給食委員会の活動」 蘇原中	「1人1口、余分にご飯を食べよう」 成長期に必要な栄養を取ることと、ご飯の残量を減らすことを目標に、1人1口余分にご飯を食べる。というキャンペーン。		委員長が中心に、誰でもできる事は何かを考え提案し、全校で取り組む。
「給食試食会」での栄養教諭講話 川島小・中	給食が作られるまでの工程や食材の選定などについて話を栄養教諭から聞く。	川島給食調理場	調理場の2階の食堂が利用できる。調理場の2階から観察が出来るので工程が良く分かる。
「どんぐりクラブ」の取組み 八木山小特別支援学級	特別支援学級と地元にある障がい児童支援団体「どんぐりクラブ」とのおやつ作り交流	障がい児童支援団体 「どんぐりクラブ」	
「簡単昼ごはん講座」 給食センター	保護者（親子参加可）対象の簡単な昼ごはんメニューの講座を行った。	各務原市学校給食センター	

4 その他、貴団体・機関で実施されている食育の取組み

事業名	内容	協働する他団体名	事業実施に当たり課題となったこと等
【各務原】 食育出前授業 鵜沼第一小	2年生は「バター作り教室」 3年生は「おやつを取り方」 5年生は「だし・うま味の味覚教室」	・カルビー ・雪印乳業 ・味の素	・栄養教諭が個人的に企業のHPで探して実施しているものが多い。良い情報は全体的に紹介していくことが望ましいのでは。（逆にどこもやりだすと毎年自由に実施できないといった状況も生まれることが心配である。）
食育出前授業 「おやつについて」（スナックスクール・カカオ学習） 那加第三小 （スナックスクール）川島小	〈スナックスクール〉 お菓子の摂取量（油分・塩分・カロリー）について、摂る時間帯、摂取の仕方について業者から話を聞く。 〈カカオについて学ぶ〉 チョコレートのでき方、できるまでの流れ	・カルビー ・明治チョコレート	
「中学校学校給食選手権」へのエントリー那加・桜丘・蘇原中	郷土の食材を使った給食献立の作成・調理の技能を競う。 （食育への関心・献立作成能力・調理技能の向上）	岐阜県教育委員会 主催	その学校の献立に正式採用だけでなく、全市に紹介していく。
「おやつを取り方・食品表示の見方」 中学2学年家庭科 鵜沼中	家庭科の時間に「カルビー」から講師を招き、おやつの上手な取り方（良くない取り方）含まれている食材の表示の見方について指導してもらう。	カルビー	・時間割り調整 ・カルビーは市内に工場がある関係で関係が深い。地域の食品関係企業との連携を図ることが大切。
防災教育との連携 「非常食カレーを食べよう」 鵜沼中・八木山小	給食室が工事のために使用できないとき、全学年で非常食カレーを実際に食し、防災意識を高めた。		腹持ちが良くないので運動量の多い時期は良くない。（部活動の盛んな時期ははずすと良い）
「手の正しい洗い方を知る」 川島小5年 川島中	ブラックライトを使って、各自の手洗いの後の汚れを目で確認することで、正しい手洗い方法を知り、家庭でも実践・呼びかけをしてもらう。	食育授業支援事業局 （マクドナルド）	
「いい歯の日」 全小中学校 「食育の日」 全小中学校	・学校給食で、毎月8日を「いい歯の日」として、歯に良い食品やよく噛むことを意識した献立を作成し実施。 ・毎月19日を食育の日とし積極的に岐阜県産食材の使用したり、郷土料理を提供したりする。	各務原市栄養教諭 部会	栄養教諭部会では全員で調理教室を行なうなど実践的な研修も行なっている。
栄養教諭による食に関する指導 全小中学校	各学年の食育指導計画に沿って、学級や学年に指導を行なう。		・食育に関する計画がしっかり作られているかを確認していく。
健康教育との連携 「歯磨き教室」 全小3 「脂質検査」 全小4・全中2	・該当学年だけでなく歯と食物との関係を栄養教諭により指導（よく噛むことの大切さ・歯を強くする食材について）を行なう。 ・該当学年において栄養教諭が、肥満予防に関わる食事について（糖分量・脂肪分の多い食品を知る）の指導を行なう。	各務原市歯科医師会 各務原市医師会 各務原市養護教諭 部会	